＜Ｇ－Forest 緊急通報カードの活用について＞

【１　目的】

労働災害の発生頻度（年千人率）が最も高い林業において、奥山で作業する林業労働災害被災者を安全かつ迅速に救出するためには、被災現場の位置や被災者の状況を消防機関に正確に伝える必要がある。

そこで、「＊G-Forest 緊急通報カード（以下、「カード」という。）」（別紙２）を事務所に配備して適宜消防署への共有、また林業労働災害発生時に消防機関へ提供することで災害発生時の対応強化及び被災者の重症化リスク軽減を図ることを目的とする。

【２　活用方法】

※他県の取組みを参考とした活用方法を示します。

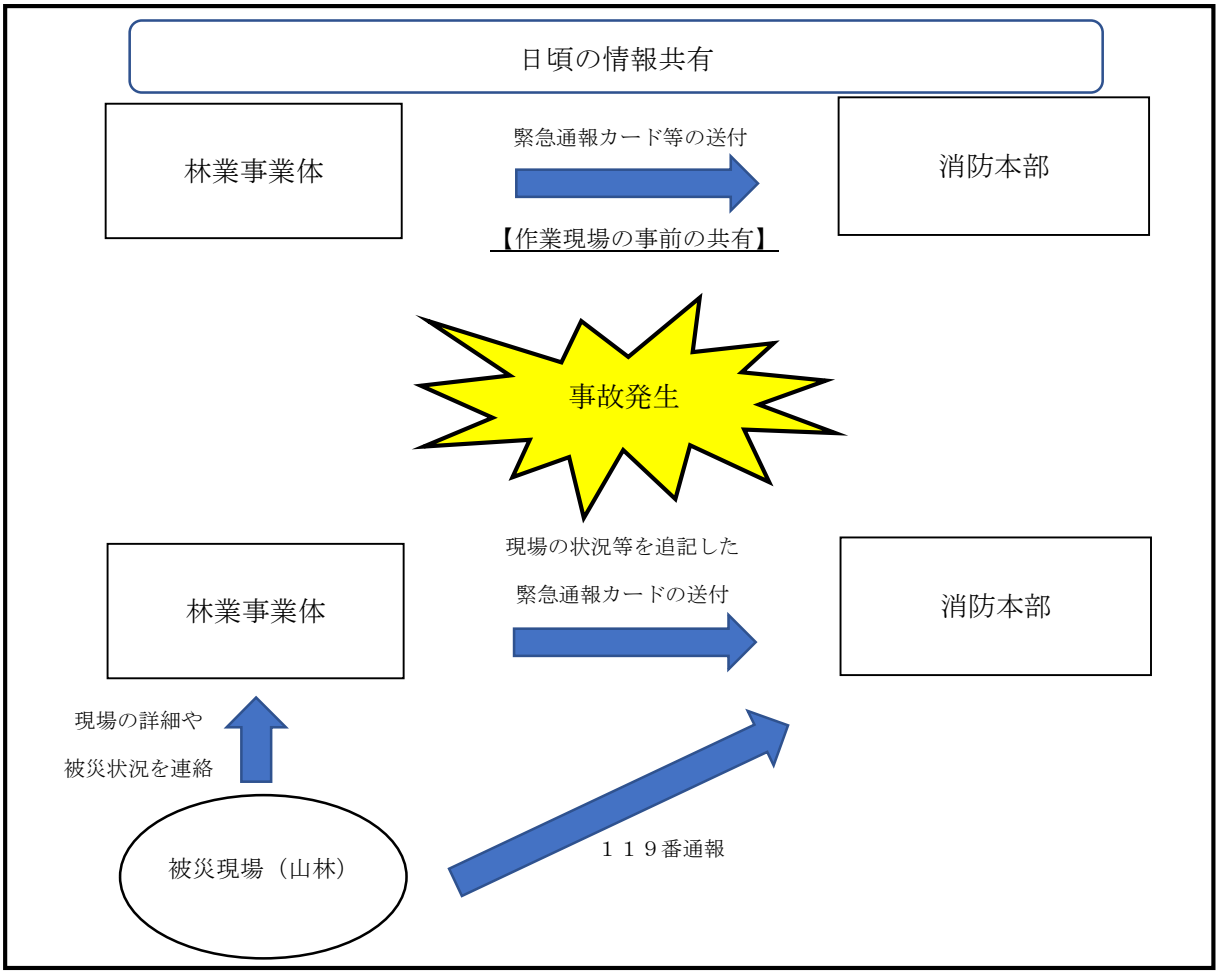
１）事前の準備及び消防機関への共有

森林組合及び林業事業体（以下「事業体」という。）は、素材生産、森林施業を行う現場に関するカード及び作業現場の分かる図面（別紙３参考）を作成し、事務所に備える。また、消防本部へカード及び図面を提供し作業現場を共有する。

２）緊急時の対応

林業事業体は事故が発生した場合には、事故現場からの１１９通報と併せて、事務所に配備したカードに被災状況等の情報を追記し、管轄する消防本部へＦＡＸで送る。

○フローチャート



［＊「G-Forest 緊急通報カード」とは？］

鳥取県林政企画課が考案し「とっとり森林緊急通報カード」を参考に、岐阜県バージョン用に内容を見直しもので、「G-Forest 緊急通報カード」としてネーミングしたものです。

令和３年度から県内各地で林業労働災害レスキュー訓練を実施し、訓練に参加した事業体及び協力いただいた消防署等と連携し、「カード」の試験運用を実施してきました。

このたび、試験運用を経て本格的に活用を推進することで、林業事業体と消防機関との連絡体制の強化を図ります。

別紙２



G-Forest 緊急通報カード

整理番号：

送 信 者：（　　）

（記載例：岐阜中央 F001）



現 場 名：（　　）

施業期間：（　　年　　月　　日 ～　　年　　月　　日）

現場から １１９	衛星電話の場合 119 通報不可 右記番号へ	○○○消防本部 TEL：○○○-○○○-○○○○ FAX：○○○-○○○-○○○○

※事故が発生した場合は、この緊急通報カードを事務所から「○○○消防本部」あてにＦＡＸを送る。

○○○には作業現場の消防本部名と連絡先を入力！！

携帯電話の通信は可能ですか？	はい
「いいえ」の場合、携帯電話が通信可能な場所 （**作業開始前に記入**）	別紙図面に記載等

＜現場の位置＞・・・現場位置の緯度・経度を事前に地図アプリ等で測定し記載

現場の位置 ※（世界測地系）	緯度	経度

※携帯電話は必ずＧＰＳを「ＯＮ」の状態で１１９番通報すること。

※通報場所が被災者の位置と離れている場合は、通報場所から被災場所までの距離や方角を必ず伝えること。

＜作業現場の図面＞・・・作業開始前に作成すること。

別紙のとおり

※救急車と案内人の合流場所を図面内に記載すること。

○特記事項

（例）救急車は砂利悪路で走行不可なので、現場付近の未舗装道路は現場の軽トラック等に乗り換えが必要等

＜被災者の情報＞・・・・・・・・・被災場所で携帯電話が通信できない場合のみ記入して、通信可能場所へ向かう。

被災現場で携帯電話が通信可能なら記入せず、速やかに１１９番通報する。

氏名		住所	
年齢・性別	（　　）歳　　男　　女	被災部位	手・足・頭・その他（　　）
生年月日 血液型	年　　月　　日　　（　　）型		
容態・状態			
意識	ある　・　ない	出血	多　・　少　（　　）
呼吸	ある　・　ない	顔色	普通　・　白い　・　赤い
骨折	ある　・　ない　・　不明	服の色	
身動き	挟まれ等により身動きが取れない状態でないか　　とれる　・　とれない		

・ハチアレルギーの有無（　　）　　・エピペンの処方の有無（　　）

＜応急処置＞・・・被災者を安全な場所へ移し応急処置を行う！可能なら合流場所へ向けて搬送する！

〇まずは・・・自分の身の安全確保！！

〇話しかけて意識がないときは、痛覚を刺激する。意識がないときは１１９番通報する。

心肺蘇生法

（新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた救急蘇生法）

反応の確認

↓

救急車の要請
１１９番通報



（※顔を近づきすぎないようにする）

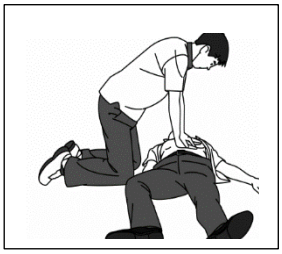


↓

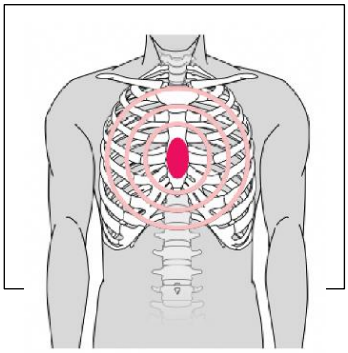
呼吸の確認

↓

胸骨圧迫
★強く（約５㎝の深さで３０回）
★速く（100～120 回/分）
★絶え間なく

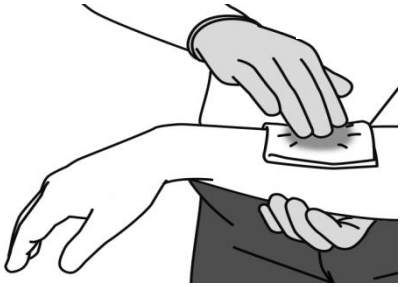


（※ハンカチなどを鼻や口にかぶせる）

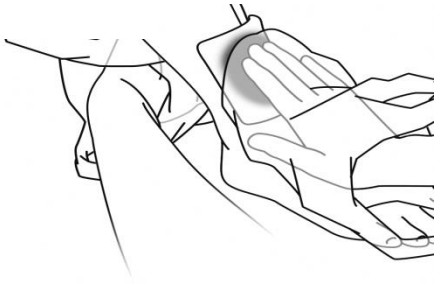


〇出血があったときには・・・清潔な三角巾・タオル・（止血帯）等を使用し止血する。

直接圧迫止血法



（手袋使用時）

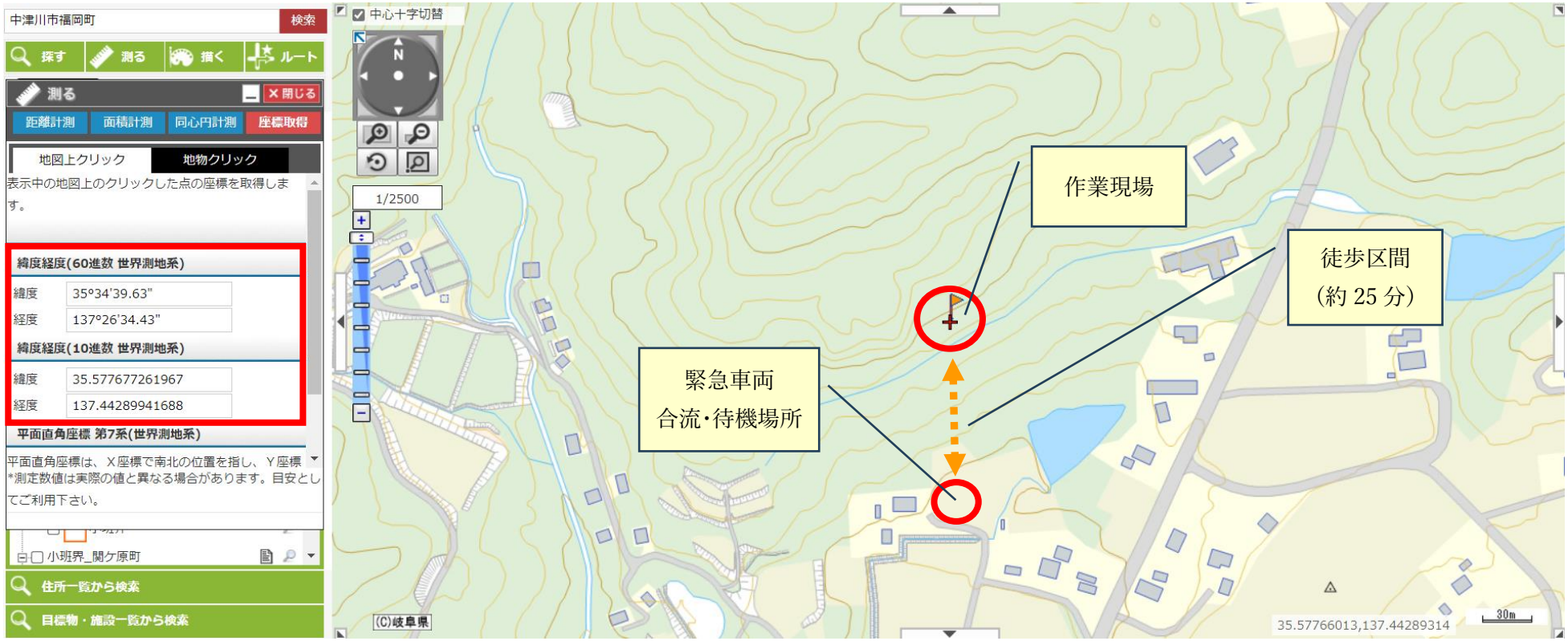


（ビニール袋使用時）

＜作成する現場図面（例１）＞

別紙３

【事業体名：株式会社〇〇】　【現場名：中津川市福岡町　□□□施業地】　【施業期間：令和６年４月20日～令和６年８月10日】
【携帯電話：通信可】　【緊急車両合流場所：施業地までは緊急車両が入れません。×××神社駐車場が緊急車両と案内人の合流場所になります。】



※当該図面は、岐阜県域統合型GIS（インターネットにて一般公開）を活用した図面です。
　岐阜県域統合型ＧＩＳトップページ →　「https://gis-gifu.jp/gifu/Portal」

＜作成する現場図面（例２）＞

【事業体名：○○森林組合】　【現場名：郡上市八幡町　□□□施業地】　【施業期間：令和 6 年 6 月 10 日～令和 6 年 10 月 25 日】
【携帯電話：通信不可】　【緊急車両合流場所：施業地までは緊急車両が入れません。×××斎苑駐車場が緊急車両と案内人の合流場所になります。】

